

第 39 回静岡県作業療法学会 抄録提出規定

I. 抄録作成・提出の手順

抄録を以下の手順に沿って作成し、提出してください。作成・提出上の不明な点やご質問は、「sotc.endai@gmail.com」（演題採択部門担当：三輪）までお問い合わせ下さい。なお、抄録は著者の表現を重視させていただきますが、演題審査結果によって修正をお願いする場合がございますのでご了承下さい。

II. 抄録提出期限

2025 年 12 月 19 日（金）17：00

III. 提出方法

1. 第 39 回静岡県作業療法学会ホームページ（以下、本学会 HP）内の「演題募集」から、演題登録（著者情報の登録）を行ってください。
※演題登録の詳細は、本学会 HP 内「演題募集要項」をご参照ください。
2. 本学会 HP より抄録フォーマットをダウンロードして作成して下さい。
3. 以下の「IV. 抄録作成上の注意事項」に従って作成した抄録をメールに添付してお送り下さい。抄録の送り先は「sotc.endai@gmail.com」として下さい。
4. メール の 件 名 を 「 抄 録 提 出 に つ い て 」 と し、抄録ファイル名は「**協会会員番号・著者名・演題名**」として下さい。なお、メールを利用できない方は、『IX. 演題募集に関する問い合わせ』までご相談ください。
5. 抄録提出後から学会当日までの間、メールでのご連絡を複数回予定しております。迷惑メールの設定をしている方は、「sotc.endai@gmail.com」からのメールが届くよう、設定をお願いいたします。また、ご自分のメールの着信確認をこまめにお願ひします。

IV. 抄録作成上の注意事項

1. 本学会 HP よりダウンロードした抄録フォーマットを使用して作成してください。
2. レイアウト・フォント・文字サイズの変更はせず、フォーマットのまま作成してください。
3. 演題名、著者名、所属、キーワードは太字にして下さい。
 - 1) 演題名および副演題名
 - ・演題名には、特別な略語は使用しないようにして下さい。
 - ・副演題は“－”（マイナスまたはダッシュ）で挟んで下さい。
 - 2) 著者名
 - ・著者名は、筆頭著者と共同著者 5 名の計 6 名まで記載できます。
 - ・筆頭著者の前に“○”を付けて下さい。
 - ・著者名の後に所属の番号（片括弧）を上付き（文字飾り）にして記載して下さい。

・共同著者が他職種の場合、括弧内に職名を略語で氏名の後に記載して下さい。

例) 医師：(MD) 理学療法士：(PT) 言語聴覚士：(ST) 看護師：(NS)

※職種が作業療法士の場合は、職名の記載は不要です。

3) キーワードの選択

・3つの「キーワード」を記載して下さい。

※OT 協会 HP の会員向け情報≫各部・委員会活動≫学術委員会≫作業療法キーワード集を参照して下さい。(https://www.jaot.or.jp/academic_journal/key-word/)

4. 抄録本文

1) 本文の文字数は、**1500 文字以内**を厳守して下さい。図表などの使用はできません。

文字カウントは全角1文字、半角0.5文字です。空白も文字カウントに含めます。

2) 略語を用いる場合は、本文中はじめに必ず完全な語を書き、その後に「(以下○○)」と略語を使用して下さい。

3) 本文内の小見出しは、【はじめに】【事例紹介】【評価】【目標】【経過】【最終評価】【考察】など、両端に【】をつけて囲んで下さい。

4) 句読点は「，(カンマ)」「.(ピリオド)」で統一して下さい。

5) 英数字は半角、それ以外は全て全角として下さい。

6) 特殊文字(丸数字、アラビア数字、単位記号、省略記号などの環境依存文字)は文字化けの原因となるため使用できません。半角英数で代用して下さい。

(例：①→(1)，㎞→km，Ⅳ→アイ(I)とブイ(V)で記載)

※1~4に関し、変更等があった場合は本学会演題採択委員で修正させて頂く場合がございます。ご了承下さい。

Microsoft Word の「校閲」タブにある「文字カウント」ボタンが赤い枠で囲まれています。このボタンから緑色の矢印が伸び、下部に表示される「文字カウント」ダイアログボックスへと向かっています。ダイアログボックス内の「文字数 (スペースを含める)」の行が赤い枠で囲まれています。

文字カウント	
統計:	
ページ数	1
単語数	1,109
文字数 (スペースを含めない)	1,486
文字数 (スペースを含める)	1,498
段落数	10
行数	55
半角英数の単語数	94
全角文字 + 半角カタカナの数	1,015

テキスト ボックス、脚注、文末脚注を含める(E)

閉じる

V. 倫理規定について

- 日本作業療法士協会の定める「職業倫理指針」を遵守して下さい。
- 本文に、対象者もしくは家族から発表（報告）の同意を得ていることを必ず記載して下さい。
- 研究の計画・実行・分析・演題作成などの過程において、個人の尊厳，人権の尊厳などの倫理的配慮を十分に行って下さい。
- 大学，病院等の倫理審査委員会の審査を受けた場合はその旨を記載して下さい。
- 利益相反の開示について，日本作業療法士協会の規定に準じ，利益相反の有無とその状態について申告して下さい。
- 個人情報保護に留意し，抄録の表現方法は個人が特定できないように配慮して下さい。（一般社団法人 日本作業療法士協会 事例報告書作成の手引き 第 9.0 版 p8 表 1）。

※詳しくは OT 協会の事例報告登録システム「事例報告書作成の手引き」

（https://www.jaot.or.jp/academic_committee/jirei/）を参考にして下さい。